

安里屋ユンタ

本調子

中
工
七
合
七
合
七
七
五
工
四
上

中
工
合
工
合
五
工
合
四
合
上
合

中
上
合
上
合
乙
四
中
上
老
四
○

四
合
上
合
中
工
中
合
上
合
四
合

上
中
工
合
工
五
工
合
工
合
五
合

五
七
工
合
五
七
五
合
工
中
上
合

中
工
合
工
中
上
四
○
四
合
上
合

上
中
合
上
合
乙
四
中
上
老
四
合

中
工
七
合
七
合
七
五
工
四
上

中
工
合
工
合
五
工
合
四
合
上
合

中
上
合
上
合
乙
四
中
上
老
四
○

安里屋ユンタ

本調子

2/2

一、サー君は野中のいばらの花かサーユ
イユイ暮れて帰ればやれほにひきと
めるマタハリーヌチンダラカヌシヤ
マヨ

二、サー嬉し恥ずかし浮名を立ててサー
ユイユイ主は白百合やれほにままな
らぬマタハリーヌチンダラカヌシヤ
マヨ

三、サー田草取るなら十六夜月よサーユ
イユイ二人で気がねにやれほに水入
らずマタハリーヌチンダラカヌシヤ
マヨ

四、サー染めて上げましよ紺地の小袖サ
ーユイユイ掛けておくれよ情けのた
すきマタハリーヌチンダラカヌシヤ
マヨ